

青森県海区だより

(発行 2007年10月31日 第19号)

〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県海区漁業調整委員会事務局
TEL 017-734-9851
FAX 017-734-8166
e-mail Kaiku@pref.aomori.lg.jp
HP http://www.pref.aomori.lg.jp/kaiku/



平成19年度全漁調連日本海ブロック会議開催

開催月日：平成19年10月24日、25日

開催場所：富山県富山市

出席者：西部海区委員会：森委員、前田委員

海区事務局：尾坂局長、佐藤主査

10月24日：日本海ブロック会議・議題

- (1) 平成19年度総会決議事項の要望結果について
- (2) 平成19年度要望結果に対する意見について
- (3) 平成20年度要望事項について・・・
(青森県西部海区からの要望事項については、全漁調連に提出)
- (4) 日本海ブロック共通議題について
- (5) 次期開催地の決定について・・・(福井県開催)
- (6) 次期全漁調連役員選出方法について



全漁調連日本海ブロック会議

10月25日：射水市八幡町の新湊漁業協同組合(矢野組合長)魚市場と水揚状況、富山市岩瀬大町の北前船回船問屋森家等視察



新湊漁港の水揚げ状況

シロエビの水揚げ
(「富山湾の宝石」と呼ばれている。)

平成19年度全漁調連東日本ブロック会議開催

開催月日：平成19年10月25日、26日

開催場所：茨城県水戸市

出席者：東部海区委員会：川口会長、澤口委員、木村委員

海区事務局：横岡次長、出町主幹

10月25日：東日本ブロック会議・議題

- (1) 平成19年度決議事項の要望結果について
- (2) 平成20年度要望事項について・・・
(青森県東部海区からの要望事項については、全漁調連に提出)
- (3) 次年度開催海区について・・・(千葉県開催)
- (4) 漁業と遊漁の調整事例について

【委員研修】

「漁業法及び水産資源保護法の一部改正に伴う調整規則例の一部改正について」

講師：水産庁資源管理部沿岸沖合課沿岸調整班
加藤 秀樹 免許調整係長



全漁調連東日本ブロック

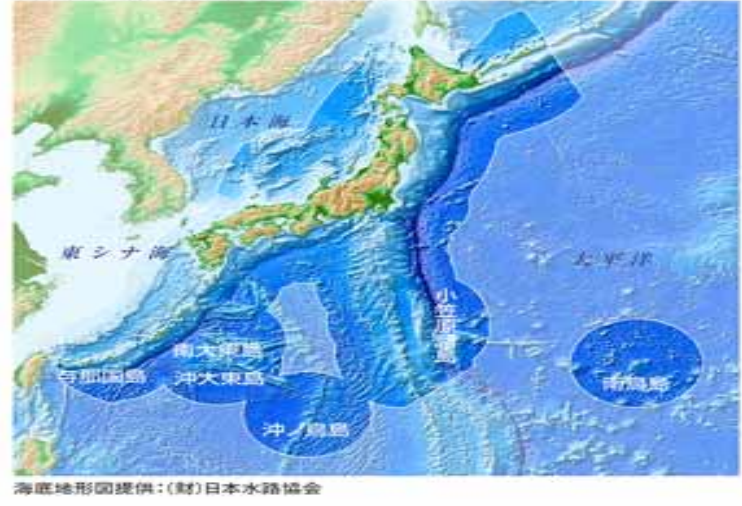
海洋基本法の制定について

海に関する新しい法律『海洋基本法』が成立しました。本年4月27日に公布された国連海洋法条約に基づく国内法「海洋基本法」が7月20日に施行されました。今後、この法律に基づき、国として海を統合的に管理する体制が整備され、海洋に関する政策が総合的に進められることとなりますのでご紹介します。

平成6年に発効した国連海洋法条約では、沿岸から12海里までを領海とし、更に200海里までを排他的経済水域(EEZ)と規定したことで沿岸国の管轄権が大幅に拡大し、その結果、日本が管理する海域は国土の12倍の広さとなり、世界でも6番目の大きさとなりました。排他的に海洋資源を得ることができるようになりましたが、この海域を総合的に管理する法律がありませんでした。今回、新しくできた海洋基本法の基本的施策は、海洋資源の開発及び利用の推進 海洋環境の保全等 排他的経済水域等の開発等の推進 海上輸送の確保 海洋の安全の確保 海洋調査の推進 海洋科学技術に関する研究開発の推進 海洋産業の振興及び国際競争力の強化 沿岸域の総合管理 離島の保全 国際的な連携の確保及び国際協力の推進 海洋に関する国民の理解の増進等としています。

今後、省庁の垣根を無くして海洋問題を一元化し、海洋政策を進めることとなります。今月10月18日に総合海洋対策本部(本部長・福田康夫首相)が開催されました。海洋資源の開発及び利用の推進等12項目についての意見をとりまとめ、来年1月に『海洋基本計画』を策定することになっています。

■わが国の200海里排他的経済水域(EEZ)



海底地形図提供：(財)日本水路協会

平成19年度全国内水面漁場管理委員会連合会事務局職員研修会開催

開催月日：平成19年10月12日

開催場所：東京都

出席者：海区事務局：横岡次長

研修議題：

- (1) 「豊かな内水面を取り戻すために 外来魚問題の真相」
講師：立教大学 コミュニティ福祉学部
コミュニティ政策学科 教授 濁川 孝志
- (2) 「国土交通省が実施する河川環境行政について」
講師：国土交通省 河川局 河川局 河川環境課
河川環境教育係 係長 太田 敏之

大型クラゲ情報

10月25日までの情報では、長崎県では殆ど出現がみられないようですが、福井県若狭湾では、定置網に今季最多の数百から5,000個体の出現が見られました。本県での10月15日から10月25日までの出現状況は、日本海で定置網1網当たり、800個体、陸奥湾でイワシ網1網当たり1から2個体、太平洋で小型定置網1網当たり1から70個体、刺し網1網当たり1から7個体となっています。

(青森県水産総合研究センター ウオダスNo.1587号から抜粋)

11月のスケジュール

- 11月8、9日 全国内水面漁場管理委員会連合会東日本ブロック協議会
(宮城県仙台市)
- 11月11日 第27回全国豊かな海づくり大会
(滋賀県大津市)